

# 共生・協働の 地域社会づくり

みんなで支える地域社会

〈南九州市〉

茶寿会

Tel 0993-36-3070(栲山商店内)

- お茶と観光を絡めた地域活性化事業
- 観光客向けの特産品開発 など



茶寿の山「大野岳」と茶寿会メンバー



会長：瀬川晋哉氏

## 茶畑の景色とおいしいお茶を観光資源に 「お茶のまち・颯娃」を盛り上げたい

お茶と観光とを絡めた  
地域活性化を目指して

茶寿会ちやぶしかいは、南九州市颯娃町の茶農家約20名で構成されている団体です。

これまで颯娃町は、釜蓋神社や番所鼻自然公園などの観光名所にばかりスポットが当たっていました。お茶のまち・颯娃さやわであるからには、お茶と観光を結びつけて、地元の活性化と茶業の振興を図ることができないかと考え、大野岳周辺の茶農家が立ち上がり、平成22年に会を結成しました。

法人名である「茶寿会」の「茶寿」とは、喜寿や米寿と同じように長寿を祝う言葉です。「茶」という漢字は、旧字体にすると草かんむりで「十」が2つ、その下が「八十八」となり、全部足すと1008になることから、1008歳の祝いを茶寿と言います。「お茶を飲んで茶寿まで健康・長生き」という願いを込めて、この名前をつけました。

茶農家によるグリーン・  
ティー・リズム

平成25年、茶農家の話を聞きながら、茶畑の中を歩いて景観やお茶を楽しむ「グリーン・ティー・リズム」を発売し、多くの観光客に楽しめるようになってきました。現在茶農家ガイドは2名ですが、今後、増やしていく予定です。

大野岳名物「茶寿階段」の段数は、その名にちなみ1008段。入り口には、地元の高校生が作成してくれた杖が置かれています。駐車場や休憩施設、トイレを整備したこともあり、最近では地元の方やハイキング客に加え、バスツアーやマイカーなどで多くの観光客が訪れるようになりました。



グリーン・ティー・リズムでお茶いっぺ

他の協団体と連携し、  
地域おこしを図る

平成26年、お茶と経節の魅力を広めようと、指宿市の水産加工業協同組合青年部とコラボして「SUB SOUP」茶節ちやぶしを開発。観光客向けの特産品開発にも取り組んでいます。

現在は、地元NPO法人などとの協働により、茶畑周辺の空き家を改修し、散策後の休憩施設として活用しようとしています。「観光客にお茶を飲んでもらった時の笑顔や茶畑の中を観光バスが走っているのを見るのが楽しみです」と瀬川会長。茶寿会はこれからも、すばらしい茶畑の景色とおいしいお茶を活かして、魅力いっぱいのお茶産地を盛り上げていきます。



空き家を休憩施設へ改装中

共生・協働の地域社会づくりや  
NPO法人に関するお問い合わせ

■ 共生・協働推進課(県庁9階)

Tel 099-286-2241

■ 共生・協働センター(かごしま県民交流センター内)

Tel 099-221-6613

関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。